
福井工業大学 学則

第1章 総則

第1条 学校法人金井学園（以下「本学園」という。）が設置する福井工業大学（以下「本学」という。）は、本学園建学の精神に基づいて、質実剛健な気風と、愛国心の涵養に努め、人格円満にして徳性の高い社会人を育成するとともに、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い高い教養と工学に関する高度な専門知識・技術を身に付けた人材を育成することを使命とし、教育研究活動を通して地域社会の発展に寄与するとともに、広く人類社会の福祉に貢献することを目的とする。

第1条の2 本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の結果を検証し、教育研究活動の改善及び充実に努めるものとする。

第2条 本学に、次の学部及び学科を置く。

工 学 部

電気電子情報工学科

機械工学科

建築土木工学科

原子力技術応用工学科

環境学部

環境食品応用化学科

デザイン学科

経営情報学部

経営情報学科

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学科

第2条の2 本学は、学部及び学科ごとに、人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的を定め、それを公表するものとする。

2 学部及び学科における人材の養成及びその他教育研究上の目的は、別表Iのとおりとする。

第3条 本学の収容定員は、次のとおりとする。

区 分	入学定員	編入学定員 (2年次)	編入学定員 (3年次)	収容定員
工 学 部				
電気電子情報工学科	80	—	—	320
機 械 工 学 科	80	—	—	320
建 築 土 木 工 学 科	70	—	—	280
原子力技術応用工学科	20	—	—	80
環境学部				
環境食品応用化学科	40	—	—	160

デザイン学科	50	—	—	200
経営情報学部				
経営情報学科	90	—	—	360
スポーツ健康科学部				
スポーツ健康科学科	70	—	—	280
計	500	—	—	2,000

第4条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、修業年限の2倍の年数を超えて在学することはできない。

第2章 学年、学期及び休業日

第5条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

第6条 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

第7条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (2) 日曜日
 - (3) 夏季休業
 - (4) 冬季休業
 - (5) 春季休業
- 2 前項の第3号から第5号の休業日については、学年暦により定める。
- 3 第1項の規定にかかわらず、休業日については、事情により学長の承認を得てその都度変更することができる。
- 4 臨時休業は、必要に応じて設けることができる。

第3章 授業科目、履修方法、単位の認定及び卒業

第8条 授業科目は、教養分野科目及び専門分野科目とする。

- 2 授業は講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
- 3 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外での場所で履修させることができる。
- 4 第2項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 5 文部科学大臣が別に定めるところにより、第2項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
- 6 第3項の方法で履修し修得した単位は、卒業の要件として修得すべき所定の単位数のうち、60単位を超えないものとする。

第9条 本学において開講する授業科目及び単位数は、別表Ⅱのとおりとする。その履修方法及び単位の認定については、学習規程の定めるところによる。

2 学生の所属する学部、学科に係る分野以外の特定分野又は特定課題に関する教育課程（以下「副専攻」という。）を設け、その学習成果を認定することができる。

3 副専攻に関して必要な事項については、別に定める。

第10条 各授業科目の単位数の計算は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、その授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で各学部・学科が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で各学部・学科が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習及び実技のうち、二以上の方法の併用により行う場合は、その組合せに応じ、前各号に規定する基準を考慮して各学部・学科が定める時間の授業をもって1単位とする。

第11条 各授業科目の単位修得の認定は、試験その他の大学が定める適切な方法により学修の成果を評価し定めることとする。

第12条 試験の成績は、評点100を満点とし、60点以上を合格とし、単位を与える。これを公表する場合は、評語をもってする。評語は、秀（90以上）・優（80以上）・良（70以上）・可（60以上）・不可（60未満）の5段階とする。

第13条 各学部の所定の単位を修得した者に、卒業を認める。

区 分	教養分野	専門分野	その他	合計
工 学 部	47単位以上	77単位以上		124単位以上
環境学部	43単位以上	81単位以上		124単位以上
経営情報学部	43単位以上	81単位以上		124単位以上
スポーツ健康科学部	43単位以上	77単位以上	4単位以上	124単位以上

2 教育職員免許状を取得しようとする者は、前条に定めるほか教育職員免許法及び同法施行規則に定める授業科目及び単位を修得しなければならない。なお、取得できる免許状の種類は、次のとおりである。

工学部

電気電子情報工学科	高等学校教諭一種免許状	工業
機 械 工 学 科	高等学校教諭一種免許状	工業
建築土木工学科	高等学校教諭一種免許状	工業
原子力技術応用工学科	高等学校教諭一種免許状	工業

環境学部

環境食品応用化学科 中学校教諭一種免許状 理科

高等学校教諭一種免許状 理科

デザイン学科 高等学校教諭一種免許状 工業

経営情報学部

経営情報学科 高等学校教諭一種免許状 情報

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学科 中学校教諭一種免許状 保健体育

高等学校教諭一種免許状 保健体育

第14条 本学の卒業者に、学士の学位を授与する。

2 学位の授与に関し必要な事項は、別にこれを定める。

第4章 入学、退学、転学、休学及び除籍

第15条 本学に入学できる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者として文部科学大臣が指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

第16条 入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

第17条 入学志願者は、所定期間内に所定の出願手続きをしなければならない。

第18条 入学を許可された者は、所定の期限までに所定の入学手続きをしなければならない。

2 正当な理由がなくて前項の手続きを完了しないときは、入学の許可を取消す。

第19条 入学を許可された者は、正副2名の保証人を要する。

保証人は、学生に係る一切の責務を履行し得る独立の生計を立てている者でなければならない。

2 正保証人は父兄（親権者）、副保証人は親族又はこれに準ずる者とする。

副保証人は、でき得る限り本県又は近接府県に居住する者を選定すること。

第20条 保証人が前条の資格を失った場合、死亡又はその他の事由によりその責任を尽くすことができないとき、又は本学において不相当と認めるときは、学生は新たに保証人を決定し、直ちに届け出なければならない。

第21条 本学を退学した者で再入学を願い出たときは、選考の上、許可することがある。

第22条 本学に転入学、編入学を願い出た者には、選考の上、許可することがある。

2 編入学に関する規定は、別にこれを定める。

第23条 入学の時期は、学年の始めから30日以内とする。ただし、再入学、転入学、編入学については、事情によっては学期の始めから30日以内とすることができる。

第24条 疾病又はやむを得ない事由により退学しようとする者は、医師の診断書又は詳細な事由書を添え、保証人連署をもって願い出て許可を受けなければならない。

第25条 他の大学へ転学しようとする者は、願い出て許可を受けなければならない。

第26条 疾病又はやむを得ない事由により引き続き3か月以上修学できない者は、1か年以内の休学を願い出て許可を受けなければならない。ただし、疾病の場合には医師の診断書を添えなければならない。

第27条 前条の期間は、特別の事由があると認められたときは、許可を受けて更に1か年以内延長することができる。

2 休学期間は、通算して2年を超えることはできない。

第28条 休学期間中であってもその事由が止んだときは、復学を願い出ることができる。

第29条 休学期間は、これを修業年限及び在学期間に算入しない。

第30条 次の各号の一に該当する場合は、除籍する。

(1) 第4条に規定する在学期間を超えた者

(2) 授業料を期日までに納入せず、督促を受けても納入しない者。ただし、納入延期を認められた場合はこの限りでない。

(3) 死亡又は連絡不能の者

第5章 入学検定料・学費

第31条 本学の入学検定料及び学費は、別表Ⅲのとおりである。

第32条 冷暖房費及びその他学生諸費等に関する特別な費用は、別にこれを徴収することがある。

第33条 学費その他の諸納入金は、所定の期日までに納入しなければならない。ただし、休学を許可されたときは、休学期間中、在籍料として月額1万円を納入するものとする。

2 所定の期日までに納入を怠っている者には、これを納入するまで授業や試験に出席し又は図書館を利用する等を禁止することがある。

第34条 既に納めた納入金は、理由の如何にかかわらず一切これを返還しない。ただし、入学時の学費については、本人及び保証人連署で所定の期間内に入学辞退の申し出があった者に限り、入学金以外の納入金を返還する。

第35条 本学は、成績優秀にして将来有望なるも学資乏しき者に対する篤志家の奨学金を受諾する。寄附者は、奨学資金に記念すべき名称を付することができる。奨学資金の運営については、寄附者の意志に基づいてこれを実施する。

第36条 本学は、奨学金に関する規定を別に定め、次の者に奨学金を支給又は貸与する。

- (1) 学納金の支弁等が困難で成績優秀な者
- (2) 特別な資格取得者
- (3) スポーツなどで特別な成果をあげた者又は団体

第6章 職員組織

第37条 本学に、学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員及びその他の職員を置く。

第7章 大学運営協議会及び教授会

第38条 本学に、大学運営協議会を置く。

- 2 大学運営協議会の組織及び運営に関する規程は、別に定める。

第39条 本学に、教授会を置く。

- 2 教授会は、学長の諮問機関とする。
- 3 教授会の組織及び運営に関する規程は、別に定める。

第40条 削除

第41条 削除

第8章 別科

第42条 削除

第9章 科目等履修生、研究生、特別聴講学生及び外国人留学生

第43条 授業科目中1科目又は数科目につき履修を希望する者があるときは、科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 科目等履修生については、第13条から第18条、第21条から第30条、第33条から第36条及び第44条を除いて、本学則を準用する。

第44条 特定の題目について研究することを希望する者があるときは、研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生については、第13条から第18条、第21条から第30条、第33条から第36条及び第43条を除いて、本学則を準用する。

第45条 他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）並びに高等専門学校（以下「他の大学等」という。）の学生で、本学の授業科目を履修しようとする者があるときは、当該大学等との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することがある。

第46条 科目等履修生、研究生及び特別聴講学生に関する規定は、別にこれを定める。

第47条 外国の国籍を有する者で、第15条の規定する入学資格を有し、大学入学を目的として入国許可を受けて、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

-
- 2 外国人留学生に関する規定は、別にこれを定める。

第10章 図書館

第48条 本学に、図書館を置く。これに関する規定は、別に定める。

第11章 厚生保健施設

第49条 本学に、厚生保健に関する施設を設ける。これに関する規定は、別に定める。

第12章 賞罰

第50条 学生で他の模範となる者は、これを表彰する。

第51条 学生で学則又は学生心得に違反し、又は学生の本分に反する行為があるときは、学長が教授会の議を経てこれを懲戒する。

- 2 懲戒は、譴責、停学及び退学とする。
- 3 退学は、次の各号の一に該当する場合に行う。
 - (1) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - (2) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (3) 正当な理由がなくて出席常でない者
 - (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

附 則

この学則は、昭和40年4月1日から施行する。

附 則（昭和40年7月14日改正）

この学則は、昭和41年4月1日から施行する。

附 則（昭和47年7月12日改正）

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則（昭和50年9月20日改正）

この学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則（昭和50年12月10日改正）

この学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則（昭和51年2月27日改正）

この学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則（昭和51年11月27日改正）

この学則は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則（昭和52年2月12日改正）

この学則は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則（昭和52年11月16日改正）

この学則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則（昭和53年9月7日改正）

この学則は、昭和54年4月1日から施行し、昭和54年度以降の入学生についてのみ適用する。

附 則（昭和53年11月20日改正）

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（昭和54年2月27日改正）

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（昭和54年10月15日改正）

この学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則（昭和54年10月21日改正）

この学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則（昭和55年11月19日改正）

この学則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則（昭和56年1月21日改正）

この学則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則（昭和56年5月25日改正）

この学則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則（昭和56年11月25日改正）

この学則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年1月25日改正）

この学則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年9月17日改正）

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年11月24日改正）

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則（昭和58年3月22日改正）

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則（昭和58年10月25日改正）

この学則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（昭和58年11月16日改正）

この学則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（昭和59年4月26日改正）

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和59年5月16日改正）

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和59年11月28日改正）

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和60年3月1日改正）

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和60年7月5日改正）

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
工学部	
電気工学科	
電気工学専攻	60
電子工学専攻	80
機械工学科	
機械工学専攻	60
電子機械工学専攻	60
建設工学科	
建築学専攻	100
土木工学専攻	100
環境安全工学科	
安全工学専攻	50
環境工学専攻	40

附 則（昭和60年7月5日改正）

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（昭和60年11月27日改正）

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（昭和61年2月27日改正）

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（昭和61年7月9日改正）

この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則（昭和62年1月23日改正）

この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則（昭和62年2月27日改正）

この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則（昭和62年5月27日改正）

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（昭和62年9月16日改正）

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年2月27日改正）

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年6月22日改正）

（平成元年3月22日改正）

この学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則（平成元年3月22日改正）
この学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則（平成元年9月20日改正）
この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則（平成2年3月14日改正）
この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則（平成2年7月20日改正）
この学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則（平成3年3月14日改正）
この学則は、平成3年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
工学部	
電気工学科	
電気工学専攻	70
電子工学専攻	80
機械工学科	
機械工学専攻	70
電子機械工学専攻	70
建設工学科	
建築学専攻	100
土木工学専攻	100
応用理化学科	120
経営工学科	100

附 則（平成3年7月19日改正）
この学則は、平成3年9月1日から施行する。

附 則（平成3年7月19日改正）
この学則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成4年7月22日改正）
この学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成4年12月22日改正）
この学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成5年7月23日改正）
この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則（平成5年9月16日改正）
この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則（平成 6 年 1 月 2 6 日改正）
 この学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 6 年 6 月 2 2 日改正）
 この学則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 7 年 2 月 2 8 日改正）
 この学則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 7 年 6 月 2 3 日改正）
 この学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 7 年 7 月 2 1 日改正）
 この学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 8 年 1 月 2 4 日改正）
 この学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 8 年 3 月 2 2 日改正）
 この学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 8 年 7 月 1 0 日改正）
 この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 8 年 7 月 2 2 日改正）
 この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 9 年 3 月 1 7 日改正）
 この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 9 年 9 月 1 7 日改正）
 この学則は、平成 1 0 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第 3 条の規定にかかわらず、平成 1 0 年度から平成 1 1 年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
工学部	
電気工学科	
電気工学専攻	7 0
電子工学専攻	8 0
機械工学科	
機械工学専攻	7 0
電子機械工学専攻	8 0
建設工学科	
建築学専攻	1 0 0
土木工学専攻	1 0 0
環境安全工学科	
応用理化学科	
応用科学専攻	7 0

介護福祉工学専攻	50
経営工学科	100

附 則（平成10年3月18日改正）

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成10年9月9日改正）

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、平成11年度の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
工学部	
電気工学科	
電気工学専攻	70
電子工学専攻	80
機械工学科	
機械工学専攻	70
電子機械工学専攻	70
建設工学科	
建築学専攻	100
土木工学専攻	100
環境安全工学科	
応用理化学科	
応用科学専攻	70
介護福祉工学専攻	50
経営工学科	
マルチメディア工学専攻	50
経営デザイン工学専攻	50

附 則（平成10年10月28日改正）

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成11年5月12日改正）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

ただし、第3条の規定にかかわらず、平成12年度の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
工学部	
電気工学科	
電気工学専攻	68
電子工学専攻	80
機械工学科	136
建設工学科	
建築学専攻	100

土木工学専攻	97
応用理化学科	
応用科学専攻	67
介護福祉工学専攻	48
経営工学科	
マルチメディア工学専攻	50
経営デザイン工学専攻	47

機械工学科の編入学定員は、平成12年度2年次及び3年次、平成13年度3年次については従前のおりとする。

附 則（平成11年6月11日改正）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成12年3月14日改正）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成12年3月14日改正）

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成12年4月27日改正）

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

電気工学科については、平成13年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなる日までの間存続するものとする。

平成13年度2年次及び3年次、平成14年度3年次の電気工学科編入学定員については、従前のおりとする。

附 則（平成12年5月29日改正）

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成13年3月15日改正）

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成13年3月15日改正）

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

ただし、応用理化学科応用科学専攻については、平成14年3月31日に当該専攻に在学する者が、当該専攻に在学しなくなる日までの間存続するものとする。

附 則（平成13年11月15日改正）

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成14年3月11日改正）

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成14年3月11日改正）

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

応用理化学科環境・生命未来工学専攻及び介護福祉工学専攻については、平成15年3月31日に当該専攻に在学する者が、当該専攻に在学しなくなる日までの間存続するものとする。

平成15年度2年次及び3年次、平成16年度3年次の応用理化学科編入学定員については、従前のおりとする。

附 則（平成15年3月7日改正）

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成15年4月24日改正）

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

経営工学科経営デザイン工学専攻については、平成16年3月31日に当該学科専攻に在学する者が、当該専攻に在学しなくなる日までの間存続するものとする。

平成16年度2年次及び3年次、平成17年度3年次の経営工学科編入学定員については、従前のおりとする。

附 則（平成16年3月19日改正）

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成16年4月15日改正）

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

平成17年度から平成19年度までの電気電子工学科及び機械工学科の編入学定員については、次のとおりとする。なお、平成18年度に減少した2人を原子力技術応用工学科の2年次に振り替え、平成19年度に減少した2人を原子力技術応用工学科の3年次に振り替える。

	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	2年次	3年次	2年次	3年次	2年次	3年次
電気電子工学科	6	6	5	6	5	5
機械工学科	6	6	5	6	5	5

附 則（平成17年3月15日改正）

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月15日改正）

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月15日改正）

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月15日改正）

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年11月29日改正）

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月20日改正）

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年2月5日改正）

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

経営情報学科マルチメディア工学専攻及び経営情報システム工学専攻については、平成20年3月31

日に当該学科専攻に在学する者が、当該専攻に在学しなくなる日までの間存続するものとする。

平成20年度2年次及び3年次、平成21年度3年次の経営情報学科各専攻の編入学定員については、従前のおりとする。

附 則（平成20年3月12日改正）

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

電気電子工学科、建設工学科建築学専攻、建設工学科土木環境工学専攻、環境・生命未来工学科及び宇宙通信工学科については、平成21年3月31日に当該学科・専攻に在学する者が、当該学科・専攻に在学しなくなる日までの間存続するものとする。

平成21年度2年次及び3年次、平成22年度3年次の電気電子工学科、建設工学科建築学専攻、建設工学科土木環境工学専攻、環境・生命未来工学科及び宇宙通信工学科の編入学定員については、従前のおりとする。

附 則（平成21年4月23日改正）

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

宇宙情報科学科については、平成22年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなる日までの間存続するものとする。

平成22年度2年次及び3年次、平成23年度3年次の宇宙情報科学科の編入学定員については、従前のおりとする。

附 則（平成22年3月15日改正）

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成22年4月5日改正）

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

平成23年度2年次及び3年次、平成24年度3年次の機械工学科の編入学定員については、従前のおりとする。

附 則（平成23年3月16日改正）

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成23年5月31日改正）

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

建築学科及び土木環境工学科については、平成24年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなる日までの間存続するものとする。

平成24年度2年次及び3年次、平成25年度3年次の建築学科及び土木環境工学科の編入学定員については、従前のおりとする。

附 則（平成24年3月7日改正）

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成25年3月21日改正）

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年7月2日改正）

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成26年2月1日改正）

この学則は、平成26年2月1日から施行する。

附 則（平成26年3月28日改正）

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成26年5月22日改正）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

工学部環境生命化学科、経営情報学科、デザイン学科、産業ビジネス学科については、平成27年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなる日まで存続するものとする。

平成27年度2年次及び3年次、平成28年度3年次の工学部の編入学定員については、従前のおりとする。

附 則（平成26年8月26日改正）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月14日改正）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月8日改正）

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成29年3月7日改正）

この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月5日改正）

この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月14日改正）

この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和元年5月28日改正）

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

環境情報学部環境・食品科学科については、令和2年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなる日まで存続するものとする。

附 則（令和2年3月16日改正）

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和2年6月17日改正）

この学則は、令和2年7月1日から施行する。

附 則（令和2年6月17日改正）

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

この学則改正後の第3条の規定にかかわらず、令和3年度から令和5年度までの工学部建築土木工学科、原子力技術応用工学科、環境情報学部環境食品応用化学科、経営情報学科の収容定員は次のとおりとする。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
工学部	建築土木工学科	250	260	270
	原子力技術応用工学科	110	100	90

環境情報学部	環境食品応用化学科	190	180	170
	経営情報学科	330	340	350

附 則（令和3年3月18日改正）

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和3年9月14日改正）

この学則は、令和3年9月14日から施行する。

附 則（令和4年3月17日改正）

この学則は、令和4年4月1日から施行する。

この改正学則は、令和4年度入学生から適用し、それ以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則（令和4年3月17日改正）

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

環境情報学部経営情報学科については、令和5年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなる日まで存続するものとする。

工学部電気電子工学科、環境情報学部環境食品応用化学科、デザイン学科について、令和5年3月31日に当該学科に在学する者については、従前の名称のとおりとする。

令和3年4月1日施行改正附則の収容定員の令和5年度について、環境食品応用化学科は環境学部へ読み替えるものとする。

この学則改正後の第3条の規定にかかわらず、令和5年度から令和8年度までの環境情報学部経営情報学科、経営情報学部経営情報学科の収容定員は、次のとおりとする。

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
環境情報学部	経営情報学科	270	180	90	0
経営情報学部	経営情報学科	90	180	270	360

附 則（令和5年3月16日改正）

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

この改正学則は、令和5年度入学生から適用し、それ以前に入学した者については、なお従前の例による。

別表 I 人材の養成及び教育研究上の目的

学 部	人材の養成及び教育研究上の目的
工 学 部	高い教養と工学に関する高度の専門知識・技術を身に付け、ものづくり産業の発展に貢献できる人材を養成する。
環 境 学 部	現代社会のあらゆる場合において重要性が増している環境に関わる教育研究を基盤に、地域から世界まで様々なレベルの諸問題に取り組むことにより、持続可能な社会の実現に貢献し、幅広い分野で活躍できる創造性豊かな人材を養成する。
経 営 情 報 学 部	データサイエンス・AIおよびICTにもとづく経営・経済に関する知識と技術を習得し、高度情報社会の課題に対する適切な解決策の構想に貢献できる人材を養成する。
ス ポ ー ツ 健 康 科 学 部	スポーツ、健康に関する基礎知識・基礎理論への総合的・学術的な理解を持ち、科学的な視点からスポーツ・健康産業界や地域スポーツ指導の発展に貢献できる人材を養成する。

学 科	人材の養成及び教育研究上の目的	
工 学 部	電 気 電 子 情 報 工 学 科	電気電子工学の分野において、電気・エネルギー・電子材料・コンピュータ・計測技術・自動制御などの専門教育の実践並びにこれらに関する先端技術の研究の推進を通して、環境・エネルギー・情報通信システムにわたる高度な専門技術と幅広い教養を身に付け、世の中の変化に柔軟に対応し、グローバルに活躍できる電気電子工学分野の人材を養成する。
	機 械 工 学 科	ものづくりの基礎となる専門知識と技術の教育・研究、及び自動車の構造や整備に関する専門教育を行い、福祉・医療用機器やロボットを含む各種産業・運輸用機械・設備の設計や製造など、ものづくりに必要な幅広い知識と技術をもち、自ら進んで最先端の課題に取り組み、解決していける豊かな人間力を有し、国際社会や地域社会で活躍できる人材を養成する。
	建 築 土 木 工 学 科	現代建築および伝統的木造建築に必要な建築技術・設計法、建築計画、構造、材料、環境設備などに関する教育・研究、および自然環境と共生し、人にやさしく自然災害に強い安全・安心で豊かな国土の創出および社会基盤の整備・維持管理に必要な専門的土木技術の教育・研究を行い、専門技術者として建設業界で活躍する人材を養成する。
	原 子 力 技 術 応 用 工 学 科	原子炉、原子燃料サイクル、保全技術、放射線などについて、各人の個性、希望に合わせた特定分野の専門教育を行い、原子力技術・放射線技術を用いた安全で安心な社会を実現させるための研究を行う。また、福井県内外の研究機関や原子力技術での現場実習を豊富に取り入れるとともに、「専門職」として求められる放射線主任者、技術士補や非破壊検査技術者などの資格取得にも力を入れ、原子力・放射線分野に関する多くの知識を社会に伝えることの出来るコミュニケーション能力及び高い倫理観を持つ人材を養成する。

環境学部	環境食品応用化学科	化学・生物学の基礎から環境・食品の専門に至る体系化された教育とこれらに関する最先端研究を通して、氾濫する様々な情報に惑わされることなく、多角的な視点と深い洞察力で環境や食品に関連する重要課題の解決・改善に取り組むことができる幅広い科学技術の知識と応用力、豊かな創造性、揺るぎない倫理観を身に付けた人材を養成する。
	デザイン学科	住宅及びインテリアのデザインを軸とした環境デザイン、工業製品のデザインを軸としたプロダクトデザイン、グラフィック・映像・CG・WEBなどを軸とした情報デザインに関する専門教育の実践、工学と芸術の融合を目指す作品の制作や研究活動、デザインの発想を活用した商品企画や社会貢献を通して、美しく快適で持続可能な生活環境の創造に携わるデザイナーやデザインに関わる人材を養成する。
経営情報学部	経営情報学科	地域社会(現代社会・経営・経済)が抱える諸問題を解決・改善するために、データサイエンス・AIおよびICTを駆使して企業や地域社会の活力を向上させ、地方圏を発展させていく視点と能力とを備えるとともに、社会の一員として求められる倫理観と責任感、および高度情報社会のさらなる発展に寄与したいという意欲を持ち、学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、創造的かつ論理的な思考によって課題解決に取り組むことのできる人材を養成する。
健康科学部	スポーツ健康科学科	スポーツ、健康に関する基礎知識・基礎理論への総合的・学術的な理解を持ち、科学的な視点からスポーツ・健康産業界や地域スポーツ指導の発展に貢献できる人材を養成する。

別表Ⅱ 授業科目及び単位数

学部 学科	分野	系	群	授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	自由取得 単位数	備 考		
全 学 部 各 学 科 共 通	人文 社会	A 群		哲学入門－人生哲学		2		10単位以上修得(A～C群の各群において最低2単位を含む)		
				心理学入門－心のはたらき		2				
				女性学入門－女性の生き方論		2				
				コミュニケーション論		2				
		B 群		人と社会		2				
				法学入門－市民社会と法		2				
				日本国憲法		2				
		C 群		経済学入門－現代社会と経済		2				
				マスコミ論－新聞を読み解く力		2				
				日本文化の歴史		2				
				比較文化論－世界の文化		2				
		教 養 分 野 科 目	外国語		ベーシックコミュニケーションⅠ	1				必修科目を含めて20単位以上修得
					リスニングⅠ	1				
					ベーシックコミュニケーションⅡ	1				
				リスニングⅡ	1					
				アドバンストコミュニケーションⅠ	1					
				T O E I C Ⅰ	2					
				アドバンストコミュニケーションⅡ	1					
				T O E I C Ⅱ	2					
				テクニカルコミュニケーションⅠ		2				
				ビジネスコミュニケーションⅠ		2				
				T O E I C Ⅲ		2				
				テクニカルコミュニケーションⅡ		2				
				ビジネスコミュニケーションⅡ		2				
				T O E I C Ⅳ		2				
				テクニカルコミュニケーションⅢ		2				
				ビジネスコミュニケーションⅢ		2				
				テクニカルコミュニケーションⅣ		2				
				ビジネスコミュニケーションⅣ		2				
				海外語学研修Ⅰ		4				
				海外語学研修Ⅱ		4				
		海外語学研修Ⅲ		4						
	海外語学研修Ⅳ		4							
キ ャ リ ア 形 成		キャリアデザイン	1			必修科目を含めて5単位以上修得				
		キャリアアップゼミⅠ	1							
		キャリアアップゼミⅡ	1							
		インターンシップA		2						
		インターンシップB		2						
		地域共生学		2						
		課題研究	2							

工学部 各学科共通	工学基礎（工学部）	基礎数学 A		2	必修科目を含めて12単位以上 修得
		基礎数学 B		2	
		微分積分学 I		2	
		微分積分学 II		2	
		微分方程式		2	
		線形代数学		2	
		科学リテラシ		2	
		基礎物理学 I		2	
		基礎物理学 II		2	
		基礎化学		2	
		基礎地球科学		2	
		基礎健康科学		2	
		基礎統計学		2	
		工学倫理		2	
		コンピュータリテラシ	2		
日本語の基礎		2			
日本語表現法 I	2				
日本語表現法 II		2			
環境学部 各学科共通	科学基礎（環境学部）	基礎数学 A		2	※環境食品応用化学科のみ開講 ※環境食品応用化学科のみ開講 必修科目を含めて8単位以上 修得
		基礎数学 B		2	
		微分積分学		2	
		科学リテラシ		2	
		基礎化学		2	
		基礎生物学		2	
		基礎生命科学		2	
		基礎健康科学		2	
		基礎統計学		2	
		コンピュータリテラシ	2		
		日本語の基礎		2	
		日本語表現法 I	2		
日本語表現法 II		2			
経営情報学部 経営情報学科	科学基礎（経営情報学部）	数学基礎		2	必修科目を含めて8単位以上 修得
		教養数学		2	
		微分積分学		2	
		データと数学		2	
		科学リテラシ		2	
		基礎健康科学		2	
		コンピュータリテラシ	2		
		日本語の基礎		2	
日本語表現法 I	2				
日本語表現法 II		2			

スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科	教養分野科目	科学基礎（スポーツ健康科学部）	基礎数学 A		2		必修科目を含めて8単位以上 修得
			基礎数学 B		2		
			科学リテラシ		2		
			基礎生物学		2		
			基礎生命科学		2		
			基礎健康科学		2		
			基礎統計学		2		
			コンピュータリテラシ	2			
			日本語の基礎		2		
			日本語表現法 I	2			
			日本語表現法 II		2		
	合計(工学部)	19	98		必修科目を含めて47単位以上 修得		
	合計(環境学部)	19	88		必修科目を含めて43単位以上 修得		
	合計(経営情報学部)	19	82		必修科目を含めて43単位以上 修得		
	合計(スポーツ健康科学部)	19	84		必修科目を含めて43単位以上 修得		

学部 学科	学 科 目	授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	自由取得 単位数	備 考	
工 学 部 電 気 電 子 情 報 工 学 科	学部共通 科目	FUT実践学演習基礎	2				
		FUT実践学演習Ⅰ		2			
		FUT実践学演習Ⅱ		2			
		FUT実践学演習Ⅲ		2			
	工学基礎 科目	電 気 数 学 Ⅰ	2				
		電 気 数 学 Ⅱ		2			
	専 門 分 野 科 目	専門基礎 科目	電 気 回 路 Ⅰ	4			
			電 気 回 路 Ⅱ	2			
			電 気 回 路 Ⅲ		2		
			電 磁 気 学 Ⅰ	2			
			電 磁 気 学 Ⅱ	2			
			電 磁 気 学 Ⅲ		2		
			電気電子工学実験Ⅰ	2			
			電気電子工学実験Ⅱ	2			
			電気電子工学実験Ⅲ	2			
			電気電子工学実験Ⅳ	2			
			電 子 回 路 Ⅰ		2		
			電 子 回 路 Ⅱ		2		
			デ ジ タ ル 回 路		2		
			電気電子計測Ⅰ		2		
			電気電子計測Ⅱ		2		
			電 気 製 図		2		
			電気電子CAD		2		
			コンピュータ基礎	2			
			マテリアル基礎		2		
			通 信 基 礎		2		
	専 門 応 用 科 目	専門応用 科目	電 気 機 器 Ⅰ		2		
			電 気 機 器 Ⅱ		2		
			電気エネルギー発生		2		
			電気エネルギー伝送		2		
			電 気 材 料		2		
			電気法規・施設管理		2		
			電 気 応 用		2		
制 御 工 学			2				
シーケンス制御				2			
パワーエレクトロニクス				2			
コンピュータ言語Ⅰ			2				
コンピュータ言語Ⅱ				2			
組込みシステム				2			
人 工 知 能				2			
ソフトウェア工学				2			
無線通信工学				2			
電気電子工学通論Ⅰ		2					
離 散 数 学		2					

工学部電気電子情報工学科	専門分野科目	専門応用科目	コンピュータアーキテクチャ		2		
			衛星システム工学概論		2		
			デジタル信号処理		2		
		全学共通科目	卒業研究	6			
			合 計	34	68		必修科目を含めて 77単位以上修得

学部 学科	学 科 目	授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	自由取得 単位数	備 考	
工 学 部 機 械 工 学 科	学部共通 科目	FUT実践学演習基礎	2				
		FUT実践学演習Ⅰ		2			
		FUT実践学演習Ⅱ		2			
		FUT実践学演習Ⅲ		2			
	工学基礎 科目	力 学 Ⅰ	2				
		機械工学基礎Ⅰ		2			
		機械工学基礎Ⅱ		2			
		プログラミング言語	2				
	専 門 分 野 科 目	専門基礎 科目	機 械 製 図	2			
			機 械 工 学 実 習		2		
			機 械 数 学 演 習		2		
			機 械 工 学 実 験	2			
			計 測 工 学		2		
			自 動 車 工 学 実 習		2		
			電 気 ・ 電 子 工 学 概 論		2		
			機 械 材 料		2		
			力 学 Ⅱ		2		
			機 械 CAD 実 習 Ⅰ	2			
			流 れ 学	2			
			流 れ 学 演 習	2			
			自 動 車 工 学 実 験 Ⅰ		2		
			材 料 力 学 Ⅰ	2			
			材 料 力 学 Ⅰ 演 習	2			
			機 械 CAD 実 習 Ⅱ		2		
			数 値 解 析		2		
			自 動 車 材 料		2		
			自 動 車 工 学 実 験 Ⅱ		2		
			機 械 要 素 Ⅰ		2		
	工 業 熱 力 学 Ⅰ	2					
	工 業 熱 力 学 Ⅰ 演 習	2					
	自 動 車 工 学 実 験 Ⅲ		2				
	創 造 工 学 実 験		2				
	自 動 車 工 学 実 験 Ⅳ		2				
	自 動 車 整 備 実 習 Ⅰ		6				
自 動 車 整 備 実 習 Ⅱ		6					
専 門 応 用 科 目		機 構 学		2			
		機 械 加 工 学		2			
		流 体 工 学		2			
		メカトロニクス		2			
		機 械 設 計 Ⅰ		2			
		材 料 力 学 Ⅱ		2			

工学部 機械工学科	専門分野科目	専門応用科目	創造工学設計Ⅰ		2		
			自動車工学Ⅰ		2		
			創造科学Ⅰ		2		
			自動制御		2		
			振動工学		2		
			機械力学		2		
			工業熱力学Ⅱ		2		
			ロボット工学		2		
			機械要素Ⅱ		2		
			機械設計Ⅱ		2		
			創造工学設計Ⅱ		2		
			自動車工学Ⅱ		2		
			内燃機関		2		
			カーエレクトロニクス		2		
			創造科学Ⅱ		2		
		自動車法規		2			
		自動車整備Ⅰ		2			
自動車整備Ⅱ		2					
	全学共通科目	卒業研究	6				
合 計			30	102		必修科目を含めて77単位以上修得	

学部 学科	学 科 目	授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	自由取得 単位数	備 考	
工 学 部 建 築 土 木 工 学 科	学部共通 科目	FUT実践学演習基礎	2				
		FUT実践学演習Ⅰ		2			
		FUT実践学演習Ⅱ			2		
		FUT実践学演習Ⅲ			2		
	専門基礎 科目	構造力学Ⅰ	2				
		建築一般構造			2		
		建築土木概論	2				
		構造力学Ⅱ	2				
		建築土木材料学	2				
		製 図 法	2				
		C A D 製 図	2				
	専門分野 科目	専門応用 科目	構造力学Ⅲ		2		
			建築環境		2		
			設 計 Ⅰ		2		
			建築計画Ⅰ		2		
			建 築 史		2		
			実務CADⅠ		2		
			測 量 学 Ⅰ		2		
			測 量 実 習			2	
			基礎土質力学及び演習			3	
			基礎水理学及び演習			3	
			資源・エネルギー工学			2	
			防 災 概 論	2			
			設 計 Ⅱ		2		
			実務CADⅡ		2		
			鉄筋コンクリート構造	2			
			建 築 設 備		2		
			建築計画Ⅱ		2		
			近・現代建築		2		
			測 量 学 Ⅱ		2		
		応用土質力学及び演習			3		
		応用水理学及び演習			3		
土木情報処理			2				
設 計 Ⅲ			2				
鋼 構 造		2					
木造建築概論		2					
建設工学実験		2					
建 築 施 工		2					
土 木 施 工		2					

工学部 建築土木工学科	専門分野科目	専門応用 科目	上下水道学		2		
			河川工学		2		
			都市・地域計画		2		
			土木計画学		2		
			実務設計		2		
			構造演習		2		
			建築法規		2		
			道路工学		2		
			橋梁工学		2		
			交通計画		2		
			環境システム科学		2		
			都市防災学		2		
	建築土木ゼミナール	2					
全学共通 科目	卒業研究	6					
合 計			26	88		必修科目を含めて 77単位以上修得	

学部 学科	学 科 目	授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	自由取得 単位数	備 考	
工 学 部 原 子 力 技 術 応 用 工 学 科	学部共通 科目	FUT実践学演習基礎	2				
		FUT実践学演習Ⅰ		2			
		FUT実践学演習Ⅱ		2			
		FUT実践学演習Ⅲ		2			
	専 門 分 野 科 目	専門基礎 科目	放 射 線 基 礎	2			
			原 子 力 基 礎	2			
			放 射 線 測 定 学	2			
			基 礎 工 学 実 験	2			
			放 射 線 生 物 学		2		
			放 射 線 生 物 学 演 習		2		
			放 射 線 物 理 学		2		
			放 射 線 物 理 学 演 習		2		
			基 盤 工 学 実 験 (放射線測定実験)	2			
			伝 熱 ・ 流 体 工 学		2		
			材 料 科 学		2		
			電 気 電 子 工 学 Ⅰ	2			
			電 気 電 子 工 学 Ⅱ		2		
			機 械 工 学		2		
			計 測 制 御 工 学		2		
			原 子 力 法 規		2		
			放 射 線 管 理 学	2			
			放 射 線 管 理 学 演 習		2		
			創 造 工 学 実 験 Ⅰ	2			
			原 子 力 英 語 演 習 Ⅰ		2		
			原 子 力 行 政		2		
			原 子 力 社 会 学		2		
			原 子 力 倫 理	2			
			原 子 力 安 全 学	2			
	創 造 工 学 実 験 Ⅱ	2					
	原 子 力 英 語 演 習 Ⅱ		2				
	専 門 応 用 科 目	専門応用 科目	基 盤 工 学 実 験 (アイトープ・化学実験)		2		
			原 子 核 反 応 学		2		
原 子 炉 プ ラ ン ト 工 学				2			
原 子 力 ロ ボ ッ ト 工 学				2			
基 盤 工 学 実 験 (電気、機械系実験)				2			
核 燃 料 工 学				2			
バ ッ ク エ ン ド 工 学				2			
放 射 線 化 学				2			
放 射 線 照 射 工 学		2					

工学部 原子力技術応用工学科	専門分野科目	専門応用 科目	基盤工学実験 (放射線照射実験)		2		
			非破壊検査技術		2		
			基盤工学実験 (非破壊検査実験)		2		
			環境モニタリング工学		2		
			放射線応用工学		2		
			放射線人体影響学		2		
	全学共通 科目	卒業研究	6				
	合 計			30	66	必修科目を含めて77単 位以上修得	

学部 学科	学 科 目	授 業 科 目	必 修 单 位 数	選 択 单 位 数	自 由 取 得 单 位 数	備 考		
環 境 学 部 環 境 食 品 应 用 化 学 科	学部共通 科目	環境情報学概論	2					
		環境・情報倫理	2					
		知的財産概論Ⅰ			1			
		知的財産概論Ⅱ			1			
		社会調査論			2			
		FUT実践学演習基礎	2					
		FUT実践学演習Ⅰ			2			
		FUT実践学演習Ⅱ			2			
	FUT実践学演習Ⅲ			2				
	専門分野 科目	専門基礎 科目	食品生物化学概論	2				
			食品環境化学概論	2				
			食品倫理	2				
			無機化学	2				
			分析化学	2				
			地学概論			2		
			物理学概論			2		
			食品衛生学	2				
			理化学基礎実験(化学)	1				
			理化学基礎実験(地学)	1				
			理化学基礎実験(物理)	1				
			理化学基礎実験(生物)	1				
			有機化学Ⅰ	2				
			有機化学Ⅱ			2		
			物理化学Ⅰ	2				
			物理化学Ⅱ			2		
			物理化学Ⅲ			2		
			生化学Ⅰ	2				
			生化学Ⅱ			2		
			環境科学			2		
	微生物学			2				
	無機化学演習			2				
	有機化学演習			2				
	物理化学演習			2				
	専門応用 科目		食品製造工学	2				
			機器分析		2			
酵素科学				2				
発酵醸造工学			2					

環境学部 環境食品応用化学科	専門分野科目	専門応用科目	環境・食品科学実験Ⅰ	2		
			環境・食品科学実験Ⅱ	2		
			バイオテクノロジー		2	
			分子生物学Ⅰ		2	
			食品安全学	2		
			環境計測工学		2	
			分子生物学Ⅱ		2	
			栄養化学	2		
			資源リサイクル工学		2	
			高分子化学		2	
			機能性材料化学		2	
			環境・食品科学実験Ⅲ	2		
			環境・食品科学実験Ⅳ	2		
			全学共通科目	卒業研究	6	
	合 計			50	50	必修科目を含めて81単位以上修得

学部 学科	学 科 目	授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	自由取得 単位数	備 考	
環 境 学 部 デ ザ イ ン 学 科	学部共通 科目	環境情報学概論	2				
		環境・情報倫理	2				
		知的財産概論Ⅰ		1			
		知的財産概論Ⅱ		1			
		社会調査論		2			
		FUT実践学演習基礎	2				
		FUT実践学演習Ⅰ		2			
		FUT実践学演習Ⅱ		2			
	FUT実践学演習Ⅲ		2				
	専 門 分 野 科 目	専門基礎 科目	造形デザイン実習Ⅰ	2			
			造形デザイン実習Ⅱ	2			
			デジタル表現基礎	2			
			デザイン学概論	1			
			作家作品論	1			
			基礎デザイン論	2			
			環境計画論		2		
			構造設計		2		
			建築史		2		
			住環境計画演習		2		
			造形技法		2		
			情報デザイン		1		
			造形デザイン実習Ⅲ	2			
			環境デザイン実習Ⅰ		4		
			プロダクトデザイン実習Ⅰ		4		
			グラフィックデザイン実習		2		
			環境デザイン実習Ⅱ		4		
			プロダクトデザイン実習Ⅱ		4		
			視覚情報デザイン実習Ⅰ		2		
			Webデザイン		2		
			プログラミング実習		2		
			写真演習		2		
			CAD演習		2		
			家具制作演習		2		
			デザイン材料		2		
建築計画論				2			
構造力学Ⅰ		2					
メディア情報技術Ⅰ		2					
プロダクトデザイン論		2					
都市デザイン		2					
専 門 応 用 科 目		構造力学Ⅱ		2			
		建築・土木材料学		2			
		メディア情報技術Ⅱ		2			
		観光・地域創成論		2			

環境学部 デザイン学科	専門分野科目	デジタル表現技法	2		
		Webコーディング	2		
		作品研究	2		
		環境デザイン実習Ⅲ	4		
		視覚情報デザイン実習Ⅱ	4		
		商品企画実習	4		
		コミュニケーションデザイン演習	4		
		インテリアデザイン実習	4		
		メディアデザイン実習	4		
		デザインプレゼンテーション	2		
		映像デザイン	2		
		デザイン史	2		
		コンストラクション・マネジメント	2		
		建築環境	2		
		構造力学Ⅲ	2		
		構造デザイン	1		
		メディア工学	2		
		マーケティング	2		
		ユーザインタフェース	1		
		まちづくり論	2		
		都市デザイン実習	4		
		デザイン研究	2		
		商品企画論	2		
		建築設備	2		
建築法規	2				
メディア論	2				
都市防災学	2				
景観計画学	2				
全学共通科目	卒業研究	6			
合計		24	139	必修科目を含めて81単位以上修得	

学部 学科	学 科 目	授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	自由取得 単位数	備 考	
経 営 情 報 学 部 経 営 情 報 学 科	学部共通 科目	経営情報学概論	2				
		データと情報の倫理	2				
		基礎統計学	2				
		経営情報実践学演習基礎	2				
		AIと情報の倫理			1		
		知的財産概論Ⅰ			1		
		知的財産概論Ⅱ			1		
		社会調査論			2		
	経営情報実践学演習			2			
	専門基礎 科目	データサイエンス概論	2				
		プログラミング実習Ⅰ	2				
		プログラミング実習Ⅱ	2				
		情報数学			2		
		ハードウェア概論			2		
		ビジネスシミュレーション			2		
		経営数理基礎			2		
		簿記原理Ⅰ			2		
		簿記原理Ⅱ			2		
		政策科学概論			2		
	専門分野 科目	専門応用 科目	データサイエンス演習Ⅰ	2			
			データサイエンス演習Ⅱ		2		
			プレゼンテーション技法		2		
			ネットワークシステム論		2		
			情報セキュリティ		2		
			データベース論Ⅰ		2		
			プログラミング実習Ⅲ		2		
			プログラミング実習Ⅳ		2		
			データ構造とアルゴリズム		2		
			コンピュータアーキテクチャ		2		
			機械学習Ⅰ		2		
			機械学習Ⅱ		2		
			統計学演習		2		
			マーケティングⅠ		2		
			マーケティングⅡ		2		
			上級簿記Ⅰ		2		
			上級簿記Ⅱ		2		
原価計算				2			
ファイナンス				2			
環境科学				2			
政策科学Ⅰ		2					
経済分析基礎		2					
ミクロ経済分析		2					
マクロ経済分析		2					

経営情報学部 経営情報学科	専門分野科目	専門応用科目	企業研究Ⅰ		1	
			データサイエンス実習	2		
			画像情報処理論		2	
			データマイニング		2	
			ソフトウェア開発Ⅰ		2	
			ソフトウェア開発Ⅱ		2	
			データベース論Ⅱ		2	
			オペレーションズリサーチⅠ		2	
			オペレーションズリサーチⅡ		2	
			計量モデル分析		2	
			多変量解析		2	
			地域データ解析		2	
			ビジネスプランニング		2	
			管理会計論		2	
			財務会計論		2	
			企業論		2	
			労務管理論		2	
			環境経営論		2	
			産業連関分析		2	
			ロジスティクスⅠ		2	
			ロジスティクスⅡ		2	
			メディア論		2	
			費用便益分析		2	
			地域科学		2	
政策科学Ⅱ		2				
企業研究Ⅱ		1				
情報と職業		2				
地域産業論		2				
システム工学		2				
全学共通科目	卒業研究	6				
合 計		24	121	必修科目を含めて81単位以上修得		

学部 学科	学 科 目	授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	自由取得 単位数	備 考	
ス ポ ー ツ 健 康 科 学 部 ス ポ ー ツ 健 康 科 学 科	学部共通 科目	地域活性演習基礎	2				
		地域活性演習Ⅰ		2			
		地域活性演習Ⅱ		2			
		地域活性演習Ⅲ		2			
	専門基礎 科目	スポーツ科学概論	2				
		健康科学概論	2				
		スポーツ哲学		2			
		スポーツ史		2			
		スポーツ指導の基礎		2			
		スポーツ工学序論	2				
		野外スポーツ概論		2			
		スポーツ施設論		2			
		コンピューティング演習	2				
		測定機器の操作		2			
		実験データ処理		2			
		スポーツ運動学	2				
		生 理 学 A	2				
		生 理 学 B	2				
	スポーツハイオメカニクス講義			2			
	スポーツハイオメカニクス演習			2			
	専門分野 科目	スポーツ統計学			2		
		測定評価	2				
		体力測定診断・運動処方	2				
		スポーツ生体情報処理		2			
		スポーツ生体情報処理演習		2			
		スポーツ情報処理演習		2			
		コンピュータプログラミング基礎		2			
		コンピュータプログラミング応用		2			
		フィットネス経営論		2			
		スポーツ産業論		2			
		スポーツマーケティング論		2			
		スポーツメディア論		2			
		安全管理論		2			
企業インターンシップ			2				
スポーツマネジメント			2				
野外スポーツ				1			
スポーツと社会		2					
地域とスポーツ				2			
運動指導論Ⅰ				2			
運動指導論Ⅱ				2			
スポーツ心理学			2				
スポーツコーチング論			2				
発 育 発 達 学			2				
ス ポ ー ツ 医 学			2				
栄 養 学			2				

スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科	専門分野 科目	専門応用 科目	コンディショニング論		2	
			健康体力学		2	
			トレーナー・リハビリテーション演習		2	
			学校保健		2	
			救急処置		2	
			衛生学・公衆衛生学		2	
			ライフスタイルと健康		2	
			ヘルスプロモーション論		2	
			体づくり運動	1		
			体カトレーニング	1		
			陸上		1	
			水泳	1		
			コート型スポーツA (ハッケット)		1	
			器械体操		1	
			柔道		1	
			コート型スポーツB (サッカー)		1	
			ネット型スポーツA (バドミントン・テニス)		1	
			ハウスホール型スポーツ		1	
			ダンス		1	
	ネット型スポーツB (ハレーホール)		1			
フィットネス		1				
全学共通 科目	卒業研究	6				
合 計			31	93	必修科目を含めて 77単位以上修得	

学部 学科	科目等	最低 習得 単位数	授業科目	必修 単位数	選択 単位数	自由 取得 単位数	備考
全 学 部	教育の基礎的理 解に関する科目	中10 高10	○教育原理 ○教職論 ○教育経営論 ○教育心理学 ○発達心理学 ○特別支援教育 ○教育課程論			2 2 2 2 2 1 2	○:教育職員免許状 を取得するために必 要な科目。 2科目のうち 1科目 選択必修
	道徳、総合的な学 習の時間等の指導 法及び生徒指導、 教育相談等に関 する科目	中10 高8	○道徳教育 ○総合的な学習の時 間の指導法 ○特別活動論 ○教育方法 (情報通信技術の活用を含む) ○生徒・進路指導論 ○学校教育相談			2 1 1 2 2 2	中免のみ
各 学 科 共 通	教育実践に関す る科目	中7 高5	○教育実習Ⅰ ○教育実習Ⅱ ○教職実践演習 (中・高)			3 5 2	
	教科に関する専 門的事項 (職業指導)	4	○職業指導原理 ○職業指導概論			2 2	工業のみ 工業のみ
(教 職 課 程)	各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含 む。)に関する科 目	中8 高4	○工業科教育法Ⅰ ○工業科教育法Ⅱ ○情報科教育法Ⅰ ○情報科教育法Ⅱ ○理科教育法Ⅰ ○理科教育法Ⅱ ○保健体育科教育法Ⅰ ○保健体育科教育法Ⅱ			2 2 2 2 4 4 4 4	教科教育法につ いては、免許状の 種類に応じてい ずれかの科目を受 講すること。

別表Ⅲ 入学検定料及び学費(単位 円)

		学 生		科目等履修生		研 究 生		
入学検定料		公募制推薦選抜 専門・総合学科推薦選抜 一般選抜 編入学選抜 社会人選抜 帰国子女特別選抜 私費外国人留学生選抜 共通テスト利用プラス小論文選抜	30,000		10,000		20,000	
		目的意識評価型選抜 スポーツ実績評価型選抜 同窓子女選抜 指定校推薦選抜 附属高校推薦選抜 大学入学共通テスト利用選抜	10,000					
学費	工学部		初年度	2年目以降				
		入 学 金(入学時)	250,000		入学金(入学時)	10,000	入学金(入学時)	110,000
		授 業 料(年 額)	930,000	970,000	履修料(1単位当たり)	12,000	研究料(年 額)	330,000
		設備充実費(年額)	240,000	260,000				
		実験実習費(年額)	80,000	100,000				
	厚生衛生費(年額)	30,000	30,000					
	環境学部		初年度	2年目以降				
		入 学 金(入学時)	250,000		入学金(入学時)	10,000	入学金(入学時)	110,000
		授 業 料(年 額)	930,000	970,000	履修料(1単位当たり)	12,000	研究料(年 額)	330,000
		設備充実費(年額)	240,000	260,000				
		実験実習費(年額)	80,000	100,000				
	厚生衛生費(年額)	30,000	30,000					
	経営情報学部		初年度	2年目以降				
		入 学 金(入学時)	250,000		入学金(入学時)	10,000	入学金(入学時)	110,000
		授 業 料(年 額)	930,000	970,000	履修料(1単位当たり)	12,000	研究料(年 額)	330,000
		設備充実費(年額)	240,000	260,000				
実験実習費(年額)		80,000	100,000					
厚生衛生費(年額)	30,000	30,000						
スポーツ健康科学部		初年度	2年目以降					
	入 学 金(入学時)	250,000		入学金(入学時)	10,000	入学金(入学時)	110,000	
	授 業 料(年 額)	880,000	920,000	履修料(1単位当たり)	12,000	研究料(年 額)	330,000	
	設備充実費(年額)	260,000	280,000					
	実験実習費(年額)	80,000	100,000					
厚生衛生費(年額)	30,000	30,000						
物価の推移により、在学中においても学費の変動がある。								